

No.	ふりがな 氏名	性別	年齢 ※応募時	職業	経歴		農業経営の状況		認定農業者 の有無	農地利用最 適化推進委 員への応募 の有無	応募の理由
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積等			
1	おだ まさき 小田 正喜	男	60歳	農業	S58.3 H4.4～現在 H29.2～現在 R2.2～R6.2 R7.2～現在 R7.10～現在	三本木農業高等学校卒業 農業従事 県農業経営士認定 十和田おいらせ農業協同組合野菜振興会会長 十和田市認定農業者協議会会長 十和田地方卸売市場生産者協議会会長	長芋 種芋 ねぎ にんにく 大豆 計 雇用状況延べ人数	550a 105a 240a 150a 1500a 2545a 850人 (内借用1000a)	有	無	4期目を目指すにあたり、思う事は、3期9年の経験を活かして十和田市の農業発展に寄与したいし、まだまだ農業委員として活躍させていただきたい。 十和田市は畑作、畜産を中心に発展してきましたが、農業従事者の高齢化や後継者不足、集落における農地管理の負担増加など多くの課題を抱えていると感じています。 私は、農業委員として、農地が適切に利用され、意欲ある担い手へ円滑に引き継がれていくよう、地域の実状に寄り添った取り組みを考え、特に高齢の農家の方々が安心して農業を続けられる環境づくりや、後継者が地域に定着し集落全体で農業を支えていけるよう力を尽くして参ります。
2	なかの ゆういちろう 中野 雄一郎	男	52歳	農業	H7.3 H7.4～ H8.4 H17～H18 H20.1～ H20.2～H30.2 H21年度 H30.4～ H31.4～	山形大学工学部電子情報工学科卒業 農業従事 十和田市消防団第2分団第5部入団 JA十和田おいらせ青年部大深内支部長 豊良産米改善組合会計理事 青森県青年農業士 JA十和田おいらせ青年部本部部長 十和田市地域農業再生協議会 十和田地区代表 十和田市消防団第2分団第5部班長	水稻 長芋 (うち種芋) 大豆 緑肥	475a 350a (50a) 140a 700a	有	無	農業委員を2期務めさせていただきました。農業には30年従事しています。これまでの農業経験と委員会で得た知識や人脈を活かし、これからも委員会の活動に貢献したいと考えています。 農業従事者の高齢化や担い手不足等々、課題が多い現状ですが、地域の方々や委員の方々々と力を合わせて、農業が発展していけるように取組んでいきたいと思っております。
3	たけうら としひろ 竹浦 寿広	男	77歳	農業	S43.3 S43.4～ S58.6～H3.5 S59.8～H5.8 H23.3～R5.3 H26.7～ H27.3～ R7.3～	青森県立三本木農業高等学校卒業 農業従事 青森県農業機械士連絡協議会会長 十和田市農業協同組合理事 長漕宮農組合組合長 十和田市農業委員会委員 認定農業者認定 田代牧野畜産農業協同組合理事	水稻 大豆	703.9a 145.2a	有	無	今後高齢化や人口減少の本格化により農業者の減小や耕作放棄地が拡大するなかで、地域の農地が適切に利用しやすくなるように農地の集約化等、又農地の斡旋や新規就農者の掘り起こしや遊休農地の発生防止に努めたいと思っています。 又、年間を通しての委員会活動、事業等にも積極的に取り組んで行きたいと考えています。
4	そとやま やすひと 外山 康仁	男	61歳	農業	S58.3 S60.3 S60.4 H25.9 H26.3 H28.8～ H29.5～ H29.7～ R4.4～	青森県立三本木農業高校卒業 青森県農業大学校卒業 農林水産省青森食糧事務所に採用 農林水産省東北農政局青森地域センター退職 認定農業者認定 十和田おいらせ農業協同組合稲作振興会十和田湖支部監事 十和田おいらせ農業協同組合酪農部会十和田支部支部長 十和田市農業委員会委員 第二下山共同施行事務局長	主食用米 稲発酵粗飼料稲 永年性牧草 乳用牛（ホルスタイン） 乳用牛（育成牛） 繁殖黒毛和種 販売用子牛	300a 300a 1600a 8頭 1頭 8頭 4頭	有	無	農林水産省職員として、およそ30年の経験を活かし、3期9年にわたり農業委員として勤めてきました。令和6年から7年にかけて米騒動が勃発し、特に米農家に対する風当たりが厳しい状況にありますが、適正な情報収集と情報提供を冷静に進めていく必要があると考えています。 農林水産大臣が変わることで、農業政策に関する方向性が一転しています。また、様々な政策が農水省のホームページを閲覧しなければ、一般の農業者に伝わらない状況になっており、非常に不親切な農林水産省になっている状況です。この点についても農業委員として追及していきたいと考えています。

No.	ふりがな 氏名	性別	年齢 ※応募時	職業	経歴		農業経営の状況		認定農業者 の有無	農地利用最 適化推進委 員への応募 の有無	応募の理由
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積等			
5	みのわ のぶただ 箕輪 展忠	男	69歳	農業	S49.3 S50.3 S50.4 H22.3 H22.4 H26.7～ H30.4～	青森県立三本木農業高等学校卒業 農協学園卒業 十和田市農業協同組合入組 十和田おいらせ農業協同組合退職 農業従事 十和田市農業委員 六日町・喜多美町・野崎地域保全隊代表	水稻 そば	565.5a 46.2a	有	無	平成26年7月より十和田市農業委員に就任し、現在まで活動を行ってきました。 農業を取り巻く情勢は、依然厳しい状況にあります。 農業後継者や従事者不足、遊休農地の増加をはじめとした様々な課題が山積している中で、スマート農業の導入や地域計画のブラッシュアップを進めるなど、持続可能な農業の実現に向けて、農業委員として頑張っていきたい。
6	まいた たくみ 米田 拓実	男	52歳	農業生産法人 (株)グリーンソ ウル 代表取締役	H5.3 H5.4 H11.3 H11.4 H24.4～ H30.2～ H30.3～ R8.2～	東京商科学院専門学校卒業 ワダカン食品工業(株)入社 ワダカン食品工業(株)退社 就農 農業生産法人(株)グリーンソウル設立 代表取締 役就任 J A 十和田おいらせ野菜振興会副会長兼藤坂支 部長 青森県農業法人協会理事就任 十和田地区農業士会副会長	平成24年4月農業生産法人(株)グ リーンソウルを設立以来、約 130haの農地に33名の従業員を擁 し、長芋・ごぼう・大根・にんに く・水稻を作付けし販売してい る。 経営の特徴は、地域の離農者か ら農地を積極的に借入れ、規模拡 大を図ると同時に、地域の遊休農 地・耕作放棄地の解消に努めてい る。 平成26年には、耕作放棄地再生 利用緊急対策事業を活用し、山林 と化した約2haの農地を再生さ せ、営農を行っている。 このような取り組みが評価さ れ、令和元年度青森県攻めの農林 水産業大賞を受賞。その他平成31 年青森県農業経営者協会より優良 農業経営者賞を受賞。 【耕作面積等】 ながいも 2,000a ながいも（種子） 300a ごぼう 3,000a にんにく 1,000a だいこん 6,300a 水稻 400a 合計 13,000a 【雇用の状況】 正社員 6名 アルバイト・パート 21名 外国人実習生 6名 合計 33名	有	無	平成11年に就農して以来20年以上、地域の先輩 方と共に農業の発展・活性化を目指し農業に取り 組んで参りました。 又、令和2年より十和田市農業委員を拝命し活 動して参りました。活動を通じて改めて、農業者 の高齢化・担い手不足、それに伴う遊休農地・耕 作放棄地増加等、地域農業の衰退が加速してい ると実感しております。 農業委員としての経験を活かし、農業者の代表 として農地の有効利用・最適化・担い手の確保等 の地域農業の課題解決へ微力ながら引き続き貢献 できればと考え応募致しました。	

No.	ふりがな 氏名	性別	年齢 ※応募時	職業	経歴		農業経営の状況		認定農業者 の有無	農地利用最 適化推進委 員への応募 の有無	応募の理由
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積等			
7	すぎやま ひであき 杉山 秀明	男	73歳	農業	S46.4 S51.4 S61.2 H12.6～ H16.4～H27.3 H20.7 R2.7～R5.7	青森県立三本木農業高等学校卒業 農業従事 十和田市農協青年部長 十和田市農業委員 赤沼宮農組合理事 農地部会長 十和田市農業委員会会長	水稻 長芋 大豆 小麦 雇人数延べ	130a 330a 550a 200a 500人	有	無	就農以来、水稻、野菜、大豆、小豆栽培に取り 組むと同時に、色々な組織の役員等を歴任、地域 の活動と農業、農村の発展に努力しております。 地域計画の作成により担い手への集積、集約化 育成に取り組んでいます。耕作放棄地、遊休農地 の発生防止、改善に取り組み、意欲ある新規参入 者への推進をしています。近年、農地法の改正、 農地中間管理事業法の改正、農業経営基盤強化促 進法の改正等により農家の不安が高まっていま す。そこで、私達農業委員が知恵と行動力で集め た情報を農家に提供して更に農業の発展に寄与し たいと思っております。
8	むらなか てるこ 村中 照子	女	61歳	自営業、農業	S58.3 S60.3 S60.4～H7.3 H16.10 R4.5～	青森県立三沢商業高等学校卒業 東京マックス美容専門学校卒業 美容室ロイヤル勤務 自家の自営業の手伝い 農業従事	稲作 百目木地区で精米所従事	450a	有	無	法量地区の委員の減少により応募致しました。
9	りきいし けんたろう 力石 堅太郎	男	71歳	農業	S48.3 S48.4～H3.3 H3.4～ H9.6～ H12.6～H15.6 H13.4～ H18.6～ H20.7～H23.7 H23.7～H26.7 H29.7～R2.7 H29.7～R2.7 H29.10～ R2.6～R2.7 H20.8.20 H26.11.17 H29.11.24	青森県立三本木農業高等学校農業土木科卒業 十和田市たばこ耕作振興会 農業従事 十和田市農業委員 十和田市農業委員会農地部会長職務代理者 十和田市中山間地域等館集落代表 十和田市館宮農組合長 十和田市農業委員会農政部会長 十和田市農業委員会会長職務代理者 十和田市農業委員会会長 上十三地区農業委員会連絡協議会会長 十和田市赤伏・館・漆畑農地保全会代表 青森県農業会議副会長 第39回上十三地区農業委員大会表彰（永年勤続 10年） 第58回青森県農業委員大会表彰（農政功労） 平成29年度青森県農業委員大会表彰（永年勤続 20年）	主食用米 飼料用米 受託(刈取り)	800a 144a 1000a	有	無	十和田市農業委員として農業と地域発展のため に活動してまいりました。 これまでの経験を生かし、今まで以上に若い農 業委員、最適化推進委員を指導しながら農家・農 業者・十和田市のために努力し頑張って行きたい との思いで応募致しました。

No.	ふりがな 氏名	性別	年齢 ※応募時	職業	経歴		農業経営の状況		認定農業者 の有無	農地利用最 適化推進委 員への応募 の有無	応募の理由
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積等			
10	さわい せいじ 沢井 清治	男	55歳	農業	H元.3 H23.4～ R4.3～ R4.3～ R6.12～	青森県立弘前高等技術専門学校建築科卒業 (有)新谷建築工業就職 農業従事 十和田おいらせ農業協同組合十和田湖支店稲作 振興会支部長就任 十和田おいらせ農業協同組合本部稲作振興会会 長就任 沢田財産区副議長就任	水稻 にんにく そば 土壌診断による最適な土作り 密苗、側条施肥による肥料や人員 の削減	1400a 60a 75a	有	無	私は一期三年間農業委員を経験した事で農地における、様々な農地法の第三条～第五条までのいろいろな農地法の規定がある事が理解できました。 次からの三年は、市内・十和田湖地区の遊休農地の発生防止、解消のために農家の皆さんとの話し合い、現場に出向いて、耕作されていない農地の確認、農家さんとの話をしていきたい。また十和田湖地区においても、高齢化が進む中で、若い人材の新規参入の声掛けや、担い手や規模拡大の農家への、農地の集積・集約のための活動をして少しでも遊休農地を減らしていきたいと思農業委員に応募したいと思います。
11	いなだ まさのり 稲田 優憲	男	66歳	団体職員	S52.3 S52.4～S55.6 S55.7 H26.12～ H27.2～ H31.3 H31.4	三本木農業高等学校卒業 農業に従事 三本木畜産農業協同組合入組 和島転作集団代表 和島水利組合組合長 三本木畜産農業協同組合退職 三本木畜産農業協同組合再雇用	水稻 長芋 ゴボウ 黒毛和種繁殖	400a 80a 120a 成牛 8頭 子牛 7頭	有	無	私は、三本木畜産農業協同組合の職員として38年間勤務し、畜産課、精肉店を歴任し退職しました。 現在は再雇用にて精肉店に勤務しています。地域の畜産農業者、精肉業者から授かった豊富な知識と経験並びに人脈を活かせると思っています。 また、兼業農家として農業経営を行っており、農業者による農業経営の良き相談役になれるとともに、農業委員として6年間の経験を農業者の目線で農業、農村を守り、健全な農業の発展のためにお役にたてると思応募いたしました。
12	さわめ かつひろ 沢目 勝弘	男	73歳	農業	S49.3 S49.4～H24.3 H24.9～R元.7 R1.8～ H24.4～ H26.4～ H27.4～ H27.4～ R5.7～ R6.7～	北海道拓殖短期大学卒業 十和田市農業協同組合 JAグループ(株)エコー 農業従事 稲生川土地改良区総代 板ノ沢無人ヘリ利用組合代表 板ノ沢水田転作組合代表 板ノ沢営農組合代表 十和田市農業委員会委員 深持財産区議員	水稻 飼料作物 今後は作業受託や農業委員会の幹 旋等で面積の拡大を図りたい。	510a 130a	有	無	当地域も中心働き手の高齢化は著しく、作業受委託や農地法第3条契約を結ぶケースが多い。 それでも遊休農地化しないで農地として継承されているのには畜産農家と野菜農家がバランスよく耕作し続けているからだと思う。 加えて、少数ながらも新規就農者の存在があるので頼もしい状況といえる。 認定農業者の育成や農業への意欲のある新規参入者の経営支援に関わり、常に情報の共有をしつつ、地域農業の発展に尽くしたい。
13	なかのわたり けいこ 中野渡 敬子	女	70歳	主婦	S49.3 S55.4～R6.3	五戸高等学校卒業 十和田おいらせ農業協同組合	—	—	無	有	十和田市の基幹産業である農業は食と農という面から地域づくりされております。 意欲をもってとりくんでいる農業者に対し国の施策のふれを憂う中において農業委員会がとりもつ役割は重要であります。 市でも取りくみされている食生活食の安全、それは農業のさらなる歩みである事と確認し今後、委員会の一員として貢献させて頂きたく、応募致します。

No.	ふりがな 氏名	性別	年齢 ※応募時	職業	経歴		農業経営の状況		認定農業者 の有無	農地利用最 適化推進委 員への応募 の有無	応募の理由
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積等			
14	しらやま ゆうじろう 白山 雄治郎	男	43歳	農業	H12 H21 H28 H31 R2 R2 R3	十和田工業高校 建築科卒業 農業従事 十和田おいらせ畜産後援者の会副会長 十和田市農地利用最適化推進委員 十和田おいらせ畜産後援者の会会長 青年農業士 認定農業者	水稻 牧草 繁殖黒毛和種 販売用子牛	230a 2500a 47頭 30頭	有	有	<p>旧十和田湖町地区において畜産農家として営農を行うとともに、これまで3期の農地利用最適化推進委員として、農地集積等に取り組んでまいりました。</p> <p>その活動で、地域農業が抱える高齢化や担い手不足といった課題を実感しました。</p> <p>今後は、これまでの推進委員としての経験を活かし、より広い立場から地域農業の将来を考え、農地行政に携わりたいと考え、農業委員への応募を決意いたしました。</p> <p>なお、今回は農業委員、最適化推進委員の双方に応募しておりますが、いずれの職においても、地域の実情に即した農地利用の最適化に取り組み地域農業の維持、発展に貢献したいと考えております。</p>
15	くどう ゆみこ 工藤 優美子	女	49歳	農業	H9.3 H9.4 H13.3 H13.4 H13.4 R2.4～R3.3 R3.4～現在 R4.6	小田原准看護専門学校卒業 医療法人小林病院入社 同社退社 就農 青森県たばこ耕作組合女性部 青森県営農大学校PTA会長 十和田市農地利用最適化推進委員 VIC・ウーマン認定	葉タバコ 水稻 大豆	100a 1000a 400a	無	無	<p>私は、四和地区で平成13年に就農以来、家族とともに葉タバコを中心とした畑作・稲作経営に従事しております。</p> <p>また、令和3年4月より、十和田市農地利用最適化推進委員を拝命し、農地パトロールなどを通じて、地域の農業者の高齢化・担い手不足が深刻化していることを改めて感じました。</p> <p>十和田市農地利用最適化推進委員の経験を活かし、女性ならではの視点から十和田市農業の更なる発展・遊休農地の解消・農業に携わる女性の活躍に微力ながら貢献出来ればと考え応募しました。</p>
16	せと じゅんこ 脊戸 潤子	女	53歳	花植木 小売業役員	H3.3 H4.3 H8～ R5.7～	三本木高等学校卒業 日本フラワーカレッジ卒業 (有)田島生花店入社 農業委員	-	-	無	無	<p>農業の衰退もあり、今後何かできることがないか、力になれることがあればと思って応募しました。</p> <p>農業従事者ではない観点から、農業を考えアイデアを出していきたいと思っています。</p>

No.	ふりがな 氏名	性別	年齢 ※応募時	職業	経歴		農業経営の状況		認定農業者 の有無	農地利用最 適化推進委 員への応募 の有無	応募の理由
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積等			
17	おくやま ひろし 奥山 博	男	75歳	農業	S43.3 S43.4～S44.3 S44.4～S48.3 S48.4～H22.3 H27.9～ H28.2～ R5.2～ R5.2～ R2.7～	青森県立三本木農業高等学校卒業 農林省農林技官（青森食糧事務所） 東京農業大学（農学科）卒業 十和田市役所退職 認定農業者 田屋集落営農組合長 十和田市黒毛和種改良組合長 J A 十和田おいらせ畜産振興会会長 十和田市農業委員	主食用水稻 飼料作物（牧草） 繁殖牛（成牛） 繁殖牛（子牛）	116a 92a 15頭 12頭	有	無	近年における農業の就業状況を見ると、従事者の高齢化や労働力の減少、担い手不足などにより、優良農地の耕作放棄や遊休農地化が散見されます。またその一方では、認定農業者や中核的農業者による経営規模の拡大やスマート農業の実施、経営体の法人化、新規農業者の参入など新たな取り組みが確認できます。 については、係る地域農業・農村の実態に鑑み、農地の適切かつ有効、効率的利活用の促進を図り、農業者の安心、安全、安定的生産基盤の確立のため、農業委員としてそれらの需給調整に関与し、十和田市農業・農村の魅力の維持向上と、持続の可能性、活性化の実現のため、一意専心、貢献して行きます。